



日本共産党区議会議員
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111（内線4650～4654）
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

待機児解消のため さらに認可保育所の 増設を！

= 認証保育所の父母負担軽減・ 発達支援児保育に補助をすべき =

保育所が 足りない！

容を精査して今後の
でめられている。内
答弁第一回審査
いと考えることがか
しただけでは足りな
のは、前進だが、しか
これだけでは足りな
と聞いている。

質問「保育園に預けることができないために、層間の仕事ができずに子どもを寝かせてから深夜12時から朝の6時まで「コンビニで働かざるを得ないお母さんもいる。また、「上の子は認可に入っているのに、下の子がどこにも入れなかつた」と結局、待機児をかかえて困っている。待機児問題が深刻で、非常に多くの人たちが保育所への入所を希望している。2月にH24年度の認可保育所申込者に対する通知が發送され、1547人が不承諾となった。保育所入所の申し込み、3650人に対して、実に42.4%の人が認可保育所に入れなかつた。3カ所を増設するところになったのは、前進だが、しかしこれだけでは足りないと考えるがどうか。

保育園に入れて！「切実な声殺到 予算委員会の論戦より 第2日目、3月2日

伊藤和彦議員の質疑の要旨は次のとおりです。



質問する伊藤和彦議員

対応を考えると
質問「認可保育所が不足しているがどうかと聞いている。
答弁「3歳未満児の整備をしてきたが地域ごとの精査をしたところ保育需要が今年齢までまわったので整備する。質問「2008年の「リーマンショック」による経済危機のもとで保育所に子どもを預けて働きたいという世帯が急増、もともと保育所が足りない状況がある中で、「待機児」も急増した。都内の他の自治体は保育所の基本である「認可保育所」を増設して待機児解消に乗り出した。
しかし、足立区だけは「認可保育所をつくるだけの需要はない」「足立区の特長に合った方法で待機児解消にあたる」「認可保育所はできるまでに時間がかかる」と言いつつ認可保育所を作らない態度でした。
こうした区の方針の姿勢のもとで、他区では待機児が減少に転じているのに足立区では2011年度も待機児が増加する異常事態になった。
区民からは「親が働きながら安心して子育てができるよう」に認可保育所の増設を求める陳情が2011年6月13日付で区議会に提出され、その数は7ヶ月後の1月20日には13倍の6840名になった。そして保育所に入れない区民が子どもをかかえて毎回議会を傍聴、その数も回を追うごとに増えた。
児童福祉法に基づき認可保育所の増設こそ待機児解消の「本道」だと考えるがどうか。

答弁「第一回審査
いと考えることがか
しただけでは足りな
のは、前進だが、しか
これだけでは足りな
と聞いている。
答弁「第一回審査
いと考えることがか
しただけでは足りな
のは、前進だが、しか
これだけでは足りな
と聞いている。

答弁「足立区の認証保育所の整備率は80%と他区と変わりない。今後も認可保育所が基本と考える。
質問「今年は昨年より、申し込み人数が減ったにもかかわらず、第一次審査で待機児数が、昨年とは同量という異常な事態だ。区は認可外の保育施設（認証保育所、小規模保育所、保育ママなど）で待機児を解消すると言いつつ続けてきたが、実態はほとんど解消できていない。小ま先の対応で、2歳までしかいられない。3歳児が増えている。このまま増え続けるが3歳児はどのようになるか。
答弁「地域ごとの適切な分析がかけられていた。多様なたとえば幼児教育などを含めた適切な対応をしていく。
質問「計画をもたないから、こうした事態を招いている。認可保育所を作ること、3歳児をもつ家庭を泣かせるなど。区は認証や、小規模保育室などで対応するというが、小規模保育室は短時間就労の人が対象でしかも2歳までだ。フルタイムで働いている人や、フルタイムで復帰したい人はダメだし、3歳以後はまた、保育園探さがしをしなければならぬ。
では聞くが、「不承諾」となった人は、2月15日までに認可保育所への再申請、認可外の認証保育所への申し込みを行っているが、認証保育所に入れたのか。
答弁「4月中旬でなければわからない。質問「国も、安心子ども基金を1年だけ、延長した。保育所増設に使える。このチャンスも生かして是非さらなる増設を行ってほしいがどうか。
答弁「ニーズにあった保育サービスを適切に考え、認可保育所の対応を考

えい面3園で解消できると考える。
質問「認証保育所は保育料が定額制で収入の少ない家庭では「払いきれない」との声が寄せられている。
足立区の40代の夫婦は小学2年生と7歳の息子の保育・教育費に月10万円位の費用がかかり、下の子の認可外保育所の保育料は月約6.5万円と認可保育所と比べると、保護者の負担が大きい。
負担軽減のために利用者助成をさらに拡充すべきかどうか。
答弁「年間1増額し現行になった。さらなる増額は考えないが半年に1回の助成を年4回にシステムを改善する。
質問「公立、私立とも認可保育所には発達支援児の保育に加盟があるが、認証保育所にはない。認証保育所は発達支援児の申し込みが受け入れられる。そして、区は認可保育所並みの事務や内容を認証保育所に求めているが何も支援がない。同じように子どもたちを受け入れているのだから、発達支援児について補助をすべきかどうか。
答弁「補助はしていないが認証保育は都の事業なので都に申請する。相談は「あすと」でアドバイザー、研修もひかせる。
伊藤「近藤区長は口を開けば「財政難だ」と言っているが緊急待機児対策の真実も使えはる。「時に採り」と言いつつ、若いお母さんたちの願いに答えて認可保育所を増設すべきだ。女性の社会参加を保障すれば税収を上げることになる。安心の子育て社会をつくること、区の仕事ではないか、求めている質問を終わる。

答弁「第一回審査
いと考えることがか
しただけでは足りな
のは、前進だが、しか
これだけでは足りな
と聞いている。
答弁「第一回審査
いと考えることがか
しただけでは足りな
のは、前進だが、しか
これだけでは足りな
と聞いている。

答弁「第一回審査
いと考えることがか
しただけでは足りな
のは、前進だが、しか
これだけでは足りな
と聞いている。
答弁「第一回審査
いと考えることがか
しただけでは足りな
のは、前進だが、しか
これだけでは足りな
と聞いている。

答弁「第一回審査
いと考えることがか
しただけでは足りな
のは、前進だが、しか
これだけでは足りな
と聞いている。
答弁「第一回審査
いと考えることがか
しただけでは足りな
のは、前進だが、しか
これだけでは足りな
と聞いている。

認可保育園3ヶ所

うち2ヶ所は2013年4月開設予定

千住地域

区は、国道4号線より東側の地域に大型（最低でも120名以上の定員）の認可保育園をつくり来年4月1日開設をめざします。ただし、民設民営で、土地も民間事業者が自分で探さないという内容です。土地が見つからない可能性もあり設立まで予断を許しません。廃校になった区立16中跡の校庭を活用するなど、区が身を乗り出した対応が求められています。

梅田地域

区は、区内私立保育園による分園の設置で来年4月1日開設をめざします。「分園」方式は申請から完成まで早い利点がありますが、設置・運営補助率が低めに設定され大変だという指摘があります。「本園」で0～2歳、「分園」で3～5歳と分けて保育するなどが考えられます。申請者も場所もまだ決まっています。

綾瀬地域

区は、UR（都市再生機構）に対し、UR用地（東綾瀬）に認可保育園を誘致するよう依頼するとしています。開設は2014年度以降になる見通しです。

高齢者

グループホームなどの新規開設

- (1) 「グループホームとモ」
定員18名（2ユニット）3月1日事業開始
青井2-16-8 運営法人＝ケアサービスとモ
- (2) 小規模多機能型居宅介護「あおいの家」
登録定員25名、通所15名、宿泊5名
3月1日事業開始 青井2-16-8
運営法人＝ケアサービスとモ
- (3) 小規模多機能型居宅介護「じゃすみん扇」
登録定員25名、通所15名、宿泊8名
3月1日事業開始 扇1-31-32
運営法人＝アウトソー
- (4) 小規模多機能型居宅介護「ほのぼの」
登録定員24名、通所12名、宿泊4名
4月1日事業開始 西新井5-41-1
運営法人＝大和会



橋下・維新の会 どんな「改革」派？

自民・民主と同じ思想 「独裁」を叫び これでどうして改革といえるでしょうか！

【回答】橋下・維新の会の衆院選公約案（「維新八策」原案）は、政治の基軸は「二大政党」（自民・民主）と変わらず、国民のくらしや平和を脅かす政治をめざすものです（下表）。橋下市長による憲法違反の思想調査が発覚。君が代斉唱の強制などに、「読売」渡辺恒雄氏も「発言や政治手法についてナチス・ヒトラーを想起する」「非常に危険な兆候」と指摘しています。維新の会の衆院公約案は、改憲も主張し（参議院の廃止、首相公選制）日米同盟は「基軸」とし、沖縄・基地問題などアメリカいなり政治の大もとにある安保条約＝日米軍事同盟も堅持の立場で自民・民主と同じ思想、方向がハッキリ、「改革」とは言えないきわめて反動的です。

【質問】橋下徹大阪市長の大阪維新の会が次期衆議院選挙の公約を示すなど、マスコミで取り上げられていますが、橋下・維新の会の「改革」をどう考えたらいいのでしょうか。（花畑Mさん）

<h3>TPP推進</h3>	農業を壊し、国を壊すTPPは、「自由貿易を守る立場からTPPに参加する」と表明。
<h3>消費税増税</h3>	経済政策では、消費税増税容認の姿勢を打ち出し、マスコミも『TPP・消費増税前向き』と報道（「日経」2月14日付）。
<h3>構造改革推進</h3>	道州制を推進『広域行政の一本化は、究極の成長戦略』と主張。大企業・多国籍企業が活動しやすい場をつくり、地方自治体を壊す。
<h3>府知事時代</h3>	「構造改革プラン」で『他府県との比較』をやり、少しでも良いものがあつたら、低いものにあわせる考え方を徹底。たとえば、子どもの医療費助成制度は、何と2歳児までで全国最低。
<h3>思想チェック</h3>	戦前の特高警察を思わせる、全職員対象の『政治家、応援活動したか』などの思想調査を強行。憲法違反の人権侵害です。
<div data-bbox="159 1865 325 2022" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="395 1895 515 1926">(橋下徹)</p> <h2 data-bbox="405 1973 509 2024">語録</h2> <p data-bbox="268 2047 464 2078">出所 ウキペディア</p>	<p>「私は改憲派だし、核保有を肯定します」、「日本の一番情けないところは、単独で戦争が出来ないことだ」</p> <p>「今の世の中は、自己責任がまず原則ですよ。誰も救ってくれない」</p> <p>「今の日本の政治で一番重要なのは独裁」</p> <p>「いじめなんてどこの世界にもある。それ位乗り越えられなくてどうするのか」</p> <p>公用車を使い、昼間にスポーツジムに通う。「公私混同」の批判も無視。</p>